

サステナブルプロジェクト

長野県富士見高等学校 白鳥蒼太 他16名

目的

富士見町の魅力が詰まったお弁当を開発して町を訪れた人に富士見の魅力を知ってもらいたいと思い、富士見パノラマリゾートと一緒にプロジェクトを始動した。そしてこの活動を通じて、小中学生に農業の楽しさを知ってもらいたい。



取組内容

環境に配慮するために落ち葉、生分解性素材のお弁当やコップを混ぜて堆肥を作ったり、三菱ケミカル系列が開発している生分解性マルチを使ったりして野菜を栽培し、お弁当を開発している。まずは、富士見町と友好都市である神奈川県川崎市の小中学生に食べてもらいたいと考えている。富士見パノラマリゾートで落ち葉堆肥を作っているが、富士見高校の敷地内にも落ち葉堆肥を作る場所を設置する。



結果

10月に堆肥場が完成し町内にある落ち葉を集めて地域に貢献した。
富士見町の特徴を活かしたお弁当を長野県農業クラブ連盟県連研修会にて試食してもらい、感想を集めた。
その感想から改善を重ね、実際に11月に一般の方向けに販売する計画を立てることができた。



今後の展望

今年度は静岡市で販売する予定を組むことができたので、今後は川崎市の子供たち、さらには富士見町を訪れてくれた全国の子供たちに富士見の魅力、農業の魅力を伝えたい。
また、堆肥を使って野菜を作ることで循環した野菜栽培に取り組みたい。

